

# 京都銀行によるESG金融の取組み

2020年12月20日

株式会社 京都銀行  
経営企画部 広報SDGs室

# プロフィール

## 経営理念 「地域社会の繁栄に奉仕する」

### 京都銀行の概要

(2020年3月末現在)

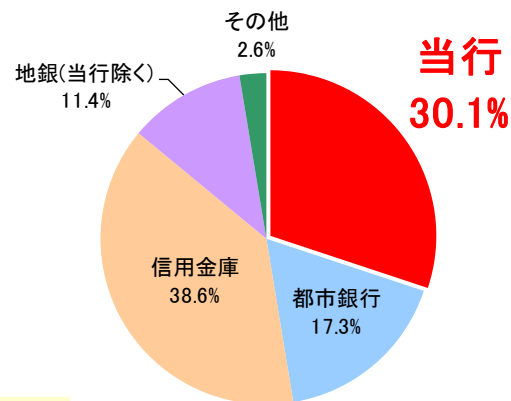
項目	計数等
創立	1941年10月
総資産	10兆658億円
預金+NCD	8兆267億円
貸出金	5兆8,284億円
資本金	421億円
有価証券評価損益	5,845億円
自己資本比率 (単体ベース)	国内基準…11.02% (参考)BIS基準…19.35%
格付(※)	R&I : A S&P : A-
従業員数	3,440人
拠点数	店舗数…174か店 移動店舗車…1台 店舗外ATM…280か所
海外拠点	香港駐在員事務所 上海駐在員事務所 大連駐在員事務所 バンコク駐在員事務所

(※)2020年5月18日現在

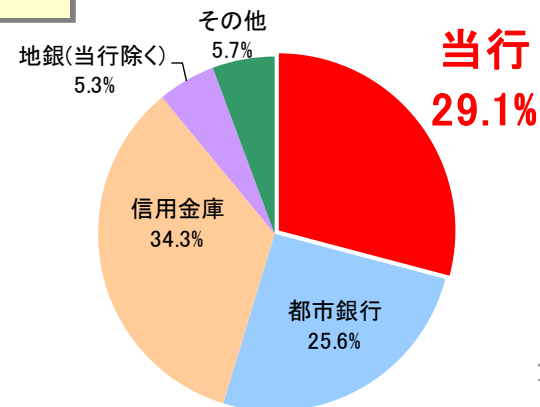
### 京都府内シェア(2020/3)

(銀行、信用金庫、信用組合に占めるシェア)

#### 貸出金



#### 預金+譲渡性預金



# 沿革

1941年(昭和16年) 丹和銀行創立

1951年(昭和26年) 京都銀行に改称

1953年(昭和28年) 本店を京都市に移転

2000年(平成12年) 草津支店(滋賀県)開設  
広域型地方銀行としての成長へ

店舗網の拡充

	京都	大阪	滋賀	奈良	兵庫	愛知	東京	計
2000.3	105	9	0	0	0	0	1	115
2020.3	111	31	14	7	8	2	1	174

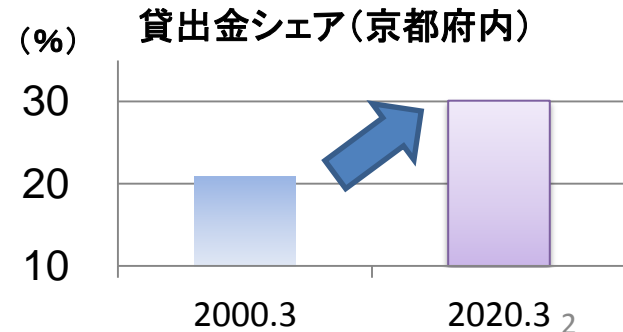
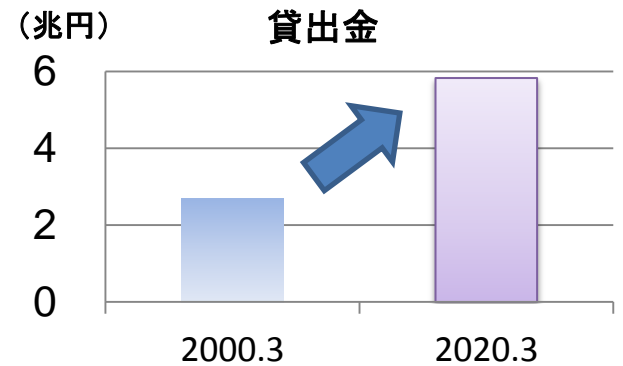
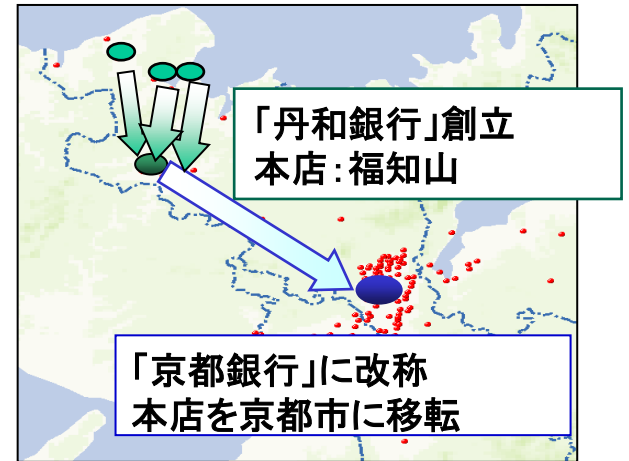
+51%

人的資本の拡充

	従業員数
2000.3	2,862
2020.3	3,440

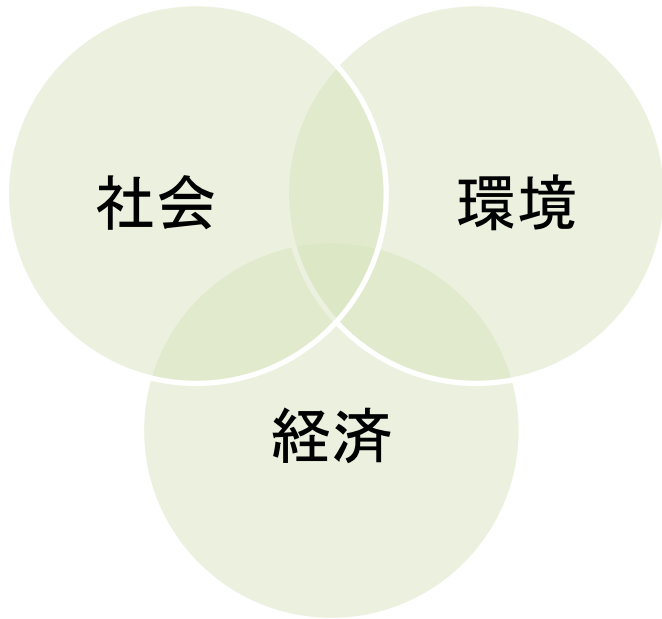
+20%

成長のための  
先行投資



# わが国・地域の課題と京都銀行グループの役割

## 課題



相互に連携・複雑化

社会・環境・経済  
の統合的向上が必要

## 京都銀行グループの役割

### 企業としての社会的責任 (CSR)

- ・環境保全活動
- ・社会貢献活動

### 地域金融機関としての 社会的責任

- ・金融仲介機能の発揮
- ・事業性評価に基づく融資
- ・地方創生への取組み

地域経済の特性

京都銀行  
グループの強み

経営理念  
地域社会の繁栄に奉仕する

持続可能な地域社会の実現

# 第7次中期経営計画(2020年4月～)

## 第7次 中期経営計画

(2020年4月～2023年3月)

全従業員の満足度向上

計画名称

# Phase Change 2020

地域とともに

～ここから始まる京都銀行グループの新たなフェーズ～

地域・お客さまの満足度向上

## メインテーマ

事業領域を銀行業から  
総合金融ソリューション業へ  
✓コンサルティング機能の更なる発揮  
対面サービスとデジタルサービスの  
ベストミックス

従業員が成長し活躍できる  
更に充実した環境の整備

専門人材・多様な人材の育成・確保

## SDGs(サステナビリティ経営)

### SDGs(サステナビリティ経営)についての考え方～経営理念のより一層高いレベルでの実践～

京都銀行グループは、これまでから「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動をさまざまな形で行ってまいりました。持続可能な社会を実現するための国際目標「SDGs」達成に向け、我々はこれからも、お客さまとともに、地域の幸せな未来を創るため、地域の社会的課題や環境問題の解決に貢献してまいります。

- 経営企画部内にSDGs活動の統轄部署  
「広報SDGs室」を新設(2020.4)
- SDGsの「重点テーマ」設定
- 経営計画とSDGsとのリンケージ

# SDGsの具体的な取組み

## 地域経済の活性化



- ・次世代の地域経済を担う企業(新産業・成長産業)の支援
- ・地域開発案件の創出、観光関連産業の活性化
- ・ビジネスマッチングの高度化
- ・取引先のSDGs支援(寄付型商品の提供等)

## 環境負荷の軽減



- ・ソーシャルボンド等、ESG・SDGs投資の拡充
- ・CO2削減への取組み(LED照明化等)
- ・森林整備活動の実施

## 安心・安全・便利な金融サービスの提供



- ・ビッグデータの分析やAI等の活用
- ・タブレット端末の活用によるペーパーレス化
- ・住宅ローン手続のWEB完結に向けたシステム対応
- ・公金収納チャネル多様化への対応
- ・地方公共団体向けデジタル化サービスの推進
- ・お客さまの声を起点とした質の高いサービスの提供
- ・障がい者、高齢者の利便性向上
- ・自然災害発生時の対応力強化
- ・マネー・ローンダリング及びテロ資金供与・反社会的勢力・金融犯罪対策への取組み

## 金融リテラシーの向上



- ・資産形成からその活用・承継等をサポート
- ・スチューデントシティ学習事業への参画
- ・エコノミクス甲子園の開催

## 全従業員の活躍支援



- ・更なる柔軟な働き方を実現
- ・ハラスメントゼロ
- ・健康経営の推進

# 企業の創業・成長支援①

地域企業の成長促進

新産業の創発

イノベーションの創出

創立以来、地域企業の成長と新産業創発に向けた  
投融資と伴走支援を実践

ファンドスキームによる  
投資実績(2000年～累計)  
先数384社 投資金額51億円

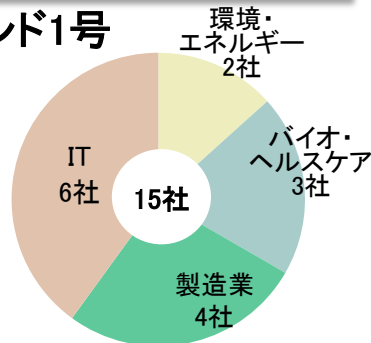
今後10年で  
総額50億円の投資計画

30社が既に上場

## 当行独自ファンドによる成長支援

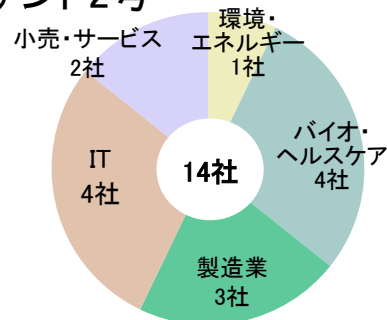
### 京銀輝く未来応援ファンド1号 (2016.2設立)

総額5億円  
15社に出資



### 京銀輝く未来応援ファンド2号 (2019.2設立)

総額10億円



⇒2020.1  
総額20億円に増額  
14社に出資

## イノベーション創出を促進する地域基盤

各大学研究機関

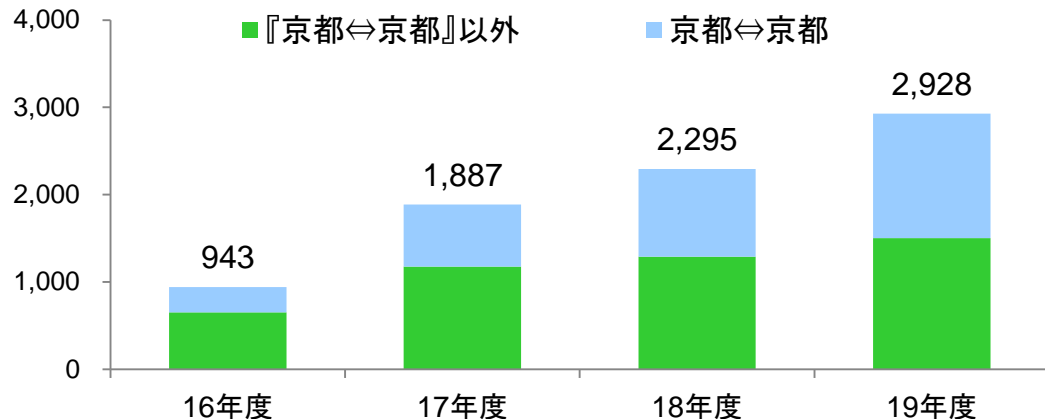
京都経済センター



# 企業の創業・成長支援②

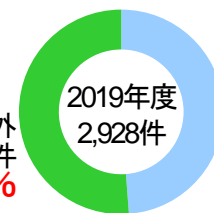
## ビジネスマッチング

(件) ビジネスマッチング 商談設定件数



ビジネスマッチング  
京都府内、府外割合

『京都⇔京都』以外  
1,502件  
51%

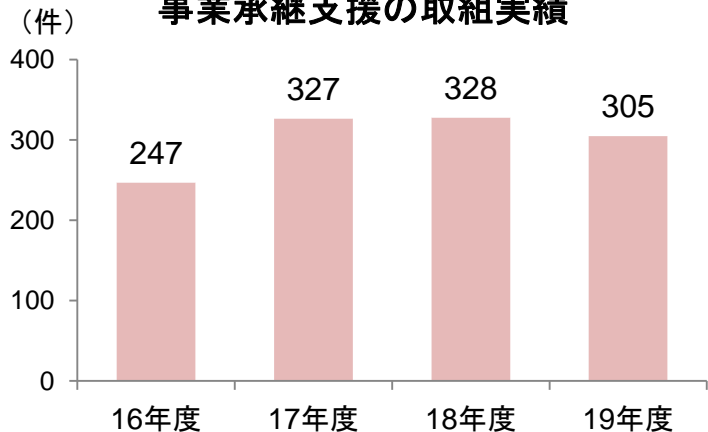


## 事業承継・M&A

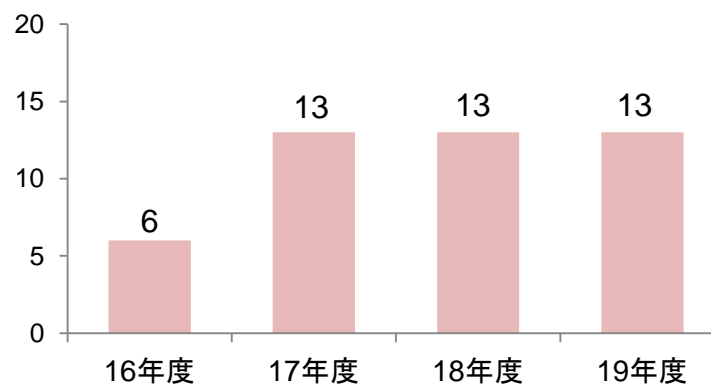
■ 事業承継

■ M&A

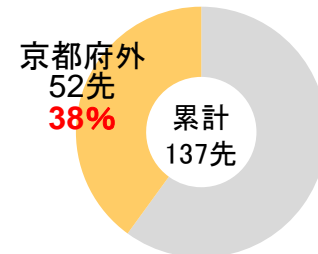
事業承継支援の取組実績



(件) M&A 「譲渡案件」受託件数



累計支援先数(成約)  
(2003年度～)  
京都府内、府外割合





# まちづくり事業の支援

地方公共団体等と連携・協力し、まちづくり事業を支援

13市町と協定を締結し  
官民連携の取り組みを推進

地方版総合戦略策定に参画

PPP/PFI推進にむけた  
「京都府公民連携プラットフォーム」  
を京都府と開催

## 与謝野町

農産物や伝統工芸品を活用した  
六次産業化や、道の駅・阿蘇ペイ  
エリアなどを生かした観光産業  
の強化など、与謝野町のブランド  
戦略に関する取り組み 等



クラウドファンディングセミナー

## 舞鶴市

京都舞鶴港の振興に  
よる地域産業の活性化  
や「赤れんが」等を  
生かした観光産業の  
振興 等



京都舞鶴港セミナーin大連

## 宇治市

商業・工業・観光業・  
農業を含めた産業  
全般に係る今後の  
方向性を示す産業  
戦略の策定 等



## 久御山町

住街区促進ゾーン・産業  
立地促進ゾーンの整備、  
地域産業の振興に関する  
取り組み 等



地方創生セミナー

## 精華町



夏秋いちご栽培事業実証栽培

農業や地域産品及び学研  
都市ブランドを生かした  
シティプロモーションによる  
産業振興・観光振興 等

一般社団法人 京都山城地域振興社  
(通称:お茶の京都DMO)

観光客流動調査及び満足度調査等  
による観光施策の効果的な推進



写真提供:和東町

多様な公民連携を推進するための  
「産・学・金・公」の対話の場で、テーマに  
応じた情報交換、政策形成を推進

開催		テーマ
2017年度	6回	PPP/PFI事業に 参画した地域事業者 の事例研究 等
2018年度	4回	京都府、京都市の 保有する未利用地の 活用についての官民 対話(意見交換会)等
2019年度	3回	効果的なサウンディ ング型市場調査の進め 方や事業発案から事 業化に向けたポイント 等

# 福知山市 「廃校」マッチングバスツアー

## 廃校活用による地方創生

- ・民間企業による遊休公共資産の活用
- ・当行が、進出検討企業と福知山市とのマッチングを仲介



## 京都府北部の太陽光発電事業向け プロジェクトファイナンス組成

太陽光発電事業(地元企業等によるSPC)に対し、アレンジャーとしてシンジケートローンを組成

- ・エネルギー地産地消の実現
- ・遊休地の事業用地転用

2017年:総額 約12億円  
2019年:総額 約 6億円

## CO2排出量ゼロ店舗「東長岡支店」 (2013年)

太陽光発電パネル、光ダクト等を設置

環境省主催  
「第5回省エネ・照明デザインアワード」  
優秀事例に選出



## 行内の廃棄文書の再利用 トイレットペーパーを寄贈(2001年～)

2001年からの寄贈  
累計 約502万巻



## 紙製手提げ袋への切り替え(2020年)

景品用手提げ袋を  
プラスチック製から  
紙製に切り替え



## 取引先企業のBCP対策サポート

### ➤ 「震災時元本免除特約付き融資」(2019～)

震度6強以上の大規模地震が発生した場合、借入金元本の返済を免除

(累計)	件数	165件
	金額	約80億円

## 京銀SDGs私募債

### ➤ 「未来にエール」(2015～)

SDGs達成に向けた商品にリニューアル(2020年) 寄付対象先を、従来の「学校」に、NPO法人など「こどもの教育に携わる各種機関や団体等」を加えて拡充

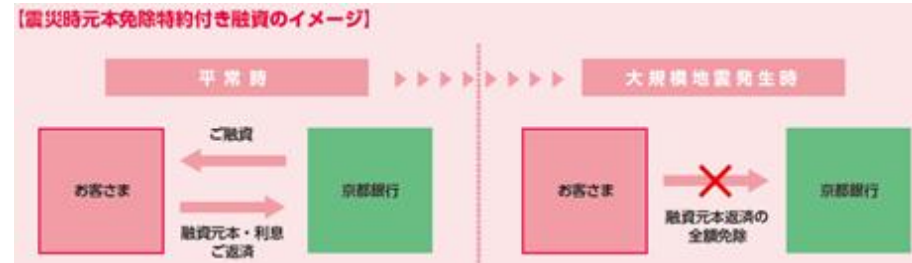
寄付金累計額 約6,258万円

## 京都市スチューデントシティ事業への参画(2007～)

京都市立小学校5年生対象  
 生き方探究館に銀行や商店、区役所などのブースを設置して「街」に見立て、児童が消費者や従業員の役割を担い、社会の働きや経済の仕組みなどを学ぶ  
 当行職員が常駐し、体験学習を手助け

### ➤ 「豪雨災害時元本免除特約付き融資」(2020.11～)

あらかじめ指定した観測地点において豪雨が観測された場合、借入金元本の返済を免除



### ➤ 「医療にエール」(2020.5～)

医療機関の業務継続をサポート



12万人以上の児童が参加

※コロナ禍で現在は休止

# 今後に向けて

ESG/SDGs要素にも着目した、取引先企業の本業支援

「地域経済の持続的成長」に向けた「地域金融の好循環の実現」



---

ご清聴ありがとうございました